

別記様式3 (記載例)

功 績 調 書

表彰の名称 千葉県看護功労者知事表彰

職 種 名 保健師
ふりがな 氏 名 〇山 〇子
まるやま ぼつこ
〇山 〇子

1 略歴

氏は、昭和〇〇年〇月、××県〇〇病院に看護師として就職し、個別性を重視した看護を大切に、患者・家族からの信頼も高く看護の質向上に努めた。

昭和〇〇年〇月から、卒業校である××県〇〇看護大学で非常勤の講師として教鞭を奮い、看護師を目指す学生たちの基礎教育における質の向上に尽力した。

その後再び臨床に復帰し、昭和〇〇年〇月から〇〇病院に看護師として就職、昭和〇〇年〇月からは同病院看護師長に昇進し、同病院の看護業務の円滑な運営に尽力した。この間、〇〇な勤務態度により若手職員の模範となり、部下から信頼され慕われる存在であった。

昭和〇年〇月からは、それまでの人材育成及び自身の研究実績が評価され、〇〇県〇〇大学に助教として招致された。そこで〇年間、看護基礎教育に尽力したのち、平成〇〇年からは〇〇市保健センターで保健師として、地域の保健医療活動に貢献している。

また、平成〇〇年〇月から平成〇〇年〇月まで（社）千葉県〇〇協会理事として、〇〇を担当し、県内の看護業務の向上に尽くした。

2 事績

(1) 〇〇病院看護師としての功績

所属病棟のリーダーとして、時間外労働短縮に向けた業務改善を積極的に行い、〇カ月で平均時間外労働を〇%短縮した。

(2) 〇〇病院看護師長としての功績

〇〇委員会の委員長として、××マニュアルの作成及び周知に尽力し、〇〇発生率を〇%減少させることに貢献した。

(3) 〇〇県〇〇大学 助教としての功績

教員として就業する間に〇〇名の卒業生を送り出した。看護基礎教育における質の向上に貢献した。

(4) 看護研究に関する功績

平成○年○月 日本○○学会（主催団体 ）にて、○○について口演
発表し論文は原著である。研究の○○により○○業務の改善（看護技術の向上）が
図られ、看護業務の向上に尽力した。

(5) (社) 千葉県○○協会理事としての功績

※ 功績は、抽象的な表現ではなく、具体的な数字や事例をあげる等、詳細に記述すること。特に、事績の効果・結果について重点を置き記載すること。